



国産初のアルカリ乾電池  
(1964年)

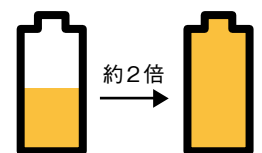
アルカリ乾電池  
「ダイナミック」(2007年)



1964年、国産初のアルカリ乾電池が登場。電解液にアルカリ性の水酸化カリウムを採用し、従来のマンガン乾電池と比べ大電流に強く、さらに大容量を実現した。当初は、二重缶方式と呼ばれる構造だったが、その後メタルジャケット方式、ラベルジャケット方式と、内容積を大きくするための改良が行われ、より高容量となっていた。90年代の初めには、それまでガス発生を抑えるために必須とされた水銀を省く技術も確立され、今日に至っている。



持続時間



単3電池、10Ω連続放電での持続時間

# 乾電池

日立マクセル株式会社 乾電池  
<http://www.maxell.co.jp/jpn/consumer/dry/>